

## イネ科通信 24

### ホソムギとネズミムギ

2013/5/12

#### ホソムギとネズミムギの比較

ネズミムギとホソムギとを比較したものを日本イネ科図譜（平凡社・長田武正著）から引用しました。

| ホソムギ                                               | ネズミムギ                                          |
|----------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| ① 多年草、稈は多数束生、花期には花序をつける稈の間に、花序をつけない稈がかなりまざっている。    | ① 1～2年草、稈は小数が束生、花期には原則としてすべての稈の先に花序がつく。        |
| ② 葉身は幅2～4mm、葉耳はときに不明、若い葉は若芽の中で二つ折りにになっている。         | ② 葉身は幅3～8mm、葉耳は明瞭、若い葉は若芽の中できると巻いている。           |
| ③ 小穂は10小花以下のものが多く、第2包穎の長さは小穂の1/3～3/4、護穎はふつう芒をもたない。 | ③ 小穂は10小花以上のものが多く、第2包穎の長さは小穂の1/～1/2、護穎は長い芒をもつ。 |

左端は公園でホソムギとネズミムギが混じって生えている風景？です。中央はホソムギとネズミムギとを並べて撮りました。これを見ると左側のホソムギは小穂が少なく、右側のネズミムギの小穂の数が多いことがわかり



ます③よく観ると、小穂の包穎は両者とも1枚だけです（通常2枚からできています）。進化の過程で1枚に減ったのでしょうか。それとも最初から1枚だけだったのでしょうか。ところが、頂上の小花だけに2枚の包穎があります。（上右端の写真）これはどうしてなのでしょう。

（注）上に載せた写真のものは厳密にはホソムギ、ネズミムギとはいえません。両者の間にはさまざまな雑種があって形態的に区別するのは大変困難です。

日本には純粋なホソムギはめったにありません。雑種はネズミホソムギともホソネズミムギとも呼びます。この写真ではネズミムギの芒がはっきりとは映っていませんが、右端の写真では長い芒がはっきり見えます。

#### ホソムギ属

ホソムギ属にはホソムギ、ネズミムギ、ドクムギとハウムギがあります。ヨーロッパなどから牧草の一つとして移入され世界各地に広がっています。

**ドクムギ** 果実（穎果）に寄生菌がつくと、菌の毒素テムリンによって家畜が中毒死するので、ドクムギと呼ばれます。

